



◆ロシア市場のビジネスチャンス
 燕三条地場産業振興センター(新潟県三条市、0256-32-5806)8月8日14時からジェットロ新瀧と共同で「ロシアビジネスセミナー」を同センターで開く。菅原信夫スガハラアソシエーツ(東京都港区)社長の講演「燕三条から見たロシア市場の特徴とビジネスチャンス」と、高橋克郎J.S.N(新潟市中央区)社長の講演「極東地区の最新市場とビジネスチャンス」で構成。参加無料。先着30人で事前申し込みが必要。締め切りは8月3日。問い合わせは同センターへ。

◆飲食店向けインバウンド拡大策
 日本政策金融公庫仙台支店・石巻支店・一関支店 飲食や旅館業などを対象に「地域インバウンドビジネス促進セミナー」を8月23日に仙台支店(仙台市青葉区)内で開く。ぐるなびの田中泰博氏が「目の前に迫るチャンスをつかめ!飲食店のためのインバウンド大作戦」と題して講演。東北の訪日外国人(インバウンド)拡大に取り組む待(宮城県丸森町)の太見洋介代表が、訪日客受け入れのための環境整備について説明する。参加無料。定員40人。締め切りは8月15日。問い合わせは仙台支店国民生活事業(022-222-5173)へ。

◆中国・ASEAN進出企業の課題
 日本政策金融公庫宇都宮支店・佐野支店 8月21日14時から栃木県青年会館(宇都宮市)で、「中小企業・農林水産事業者のための海外展開セミナー」を開く。日本公庫バンコク駐在員事務所の佐近友昭主席駐在員と同上海駐在員事務所の林智哉主席駐在員が講演。中国・ASEANに進出する日系企業の現状や課題などを解説する。講演後はジェットロ栃木貿易情報センターや栃木銀行など支援機関による個別相談会も実施する。参加無料。定員50人。申し込み締め切りは8月3日。問い合わせは事務局(028-636-7171)へ。

◆BCM模擬訓練
 AGS 8月30日13時半から本社(さいたま市浦和区)で「BCM(事業継続マネジメント)訓練」を開く。大規模災害時に発生する問題を織り込んだシナリオをもとに、事業継続に必要な情報の整理や判断が体験できる。防災週間を迎えるのを機に、模擬訓練を通して「何ができて、何ができないか」を把握するのが目的。対象は一般企業や自治体など。定員は先着順で40人。参加無料。問い合わせは企画部(048-825-6079)へ。

◆支援事例を紹介
 宮崎県産業振興機構(宮崎市、0985-74-3850)8月9日14時から宮崎市のニューウェルシティ宮崎で「業務報告会」を開く。よる支援拠点事業や産学官連携関係など同機構が支援した事例を紹介する。参加無料。事前申し込みが必要。終了後には交流会(参加費3000円)を実施する。

中小企業・地域経済

内製化9割に向上

ラインワークス 複合加工機増設 20年め

【千葉】ラインワークス(千葉市花見川区、田村修一社長、04-3-250-0165)は、生産自動化設備などに使う部品の内製化率を現状の約4割から2020年をめざして約9割まで引き上げる。18-20年の3年間で約3億円を投じ、複合加工機などを増設する。顧客の要求に応じて自動化設備を柔軟に製造できる体制を構築し、航空機やエネルギー関連などの新分野の開拓に結びつける。

航空機・エネ分野開拓

ラインワークスは溶インや溶接支持機(ポラ工程の自動化生産ラジシヨナー)の設計・製造を主力とする。顧客は建機関連分野が中心で、同分野向けの設備が売上高の約6割を占めている。一方、人手不足を背景に20年までに約2億円を投じて複合加工機などを導入し、生産能力を段階的に増強していく方針だ。

板金部品などの内製化率を高めることで、製品の納期短縮と品質向上を図る。また、従来の溶接工程向けの設備だけでなく、今後は塗装工程など幅広い用途を再編する。シュレツ

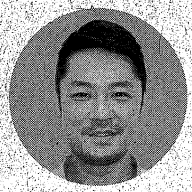
シュレツダー、OEM専念

サカエ(東京都港区、松本弘一社長、03-3573-7360)は、事務機器事業の販売を終了し、8月1日からOEM(相手源を集中し、収益性を再編する。シュレツ

要望対応「人速」モットー

揮するため「多品種少量のチベーション向上につなげる案件を中心になしている。社員のアイディアを(高橋理仁社長)。生かしながら業務改善にも社員に極力残業をさせない点も大きな特徴だ。時間果が出る工夫を積極的に進め、決めて作業に集中させ、めていく(同)と力を込め、効率的に働いて出た利益分める。(横浜)

高橋製作所



高橋社長

所在地 川崎市宮前区馬場3-10-36、044-852-3111 資本金 1000万円 売上高 約3億1000万円(18年5月期) 従業員 16人 設立 75年(昭50)6月

不撓不屈

有明海を望む福岡県大川市。人口約3万4000人の街は古くから家具の産地としてメーカーをはじめ、卸売業者や製材業者など関連産業が集積し、一大産業が息づく。市内にはショールームがあちこちに見られ、狭い道を大きなトラックが行き交う姿が日常風景となっている。

い草製品新たな価値観

添島勲商店は、い草を使用柄にあしらったマットが、つた製品の製造、販売を話題を呼んだこともあつらい環境で、少しでも新たな価値観の製品を、た肌触りとムレにくいこ

意匠重視興味につなげる

スタイルの変化に伴い、人々になじんでもらうたのぞかせるのが靴用インかつてのようになり前め仕掛けがデザイン重視の存在でなくなつてい視の戦略につながついて

衰退に苦しむ時代。創業当時想定できなかった変化が、産地の姿を様変わりさせた。そんな状況にあらがいがながら企業として生き延びてきたのは、花ごさのグラデーションのように、時代の変化に合わせて少しずつ移行し続けてきた歴史へと

添島勲商店

鮮やかな織り模様が特徴の「花ごさ」の技術を生かし、デザインを意識した製品で勝負してき。連携を密にしながら新たな「脱敷物」をコンセプトに、出理由を、社長の佐々木は「興味をもつてもらうために、まずは手に取ってもらわなければならぬ」と語る。日



生み出すためにとが特徴(佐々木)「カテゴリーキと、自信を示す製品だ。ラーであり、独花ごさが可能とする色味自のカテゴリーを取り込みつつ、い草が作るものが必持つ繊維質による通気性を」と表現するや弾力性といった機能を佐々木は、素材生かして完成した。としてのい草への思い入れも強い。その一端を 延命に向け変化

所在地 福岡県大川市中木室23の1、0944-88-1141 社長 佐々木徹氏 従業員 13人 創業 1949年(昭24) 資本金 100万円 売上高 約3億8000万円(17年9月期) URL www.oejima.com/

設計からお手伝いします
精密spring
 CHK 中央発条工業株式会社
 認定取得 IATF16949 ISO9001 ISO14001
 大分県日田市新治町503番地 TEL 0973-22-1112